



2023年3月期 連結決算説明資料

2023年5月12日

東京証券取引所プライム市場
証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2023年3月期は“22F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121

1. 2023年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2023年3月期 決算概要

ヘルスケア・V&Sの売上高が伸張 アミューズメントの減収により減収減益

□ 売上高：808.4億円(前期比 ▲59.3億円)

- アミューズメント：64.9億円(同 ▲116.4億円) 前期に集中した入替需要の反動減による
- B&P/ヘルスケア/クリエイティブワーク/V&S：693.1億円(同 +52.4億円)

当期は国内外の強い需要に対し製品供給が満たせていない状況からスタートしたものの、100%自社開発・生産の強みを活かした機動的な生産体制により供給を進め、販売増加

□ 営業利益：50.0億円(前期比 ▲62.9億円)

- 売上総利益：アミューズメント減収に加え、材料価格上昇、ドル高及び物流コスト増の影響により減益

□ 親会社株主に帰属する当期純利益：58.6億円(前期比 ▲19.3億円)

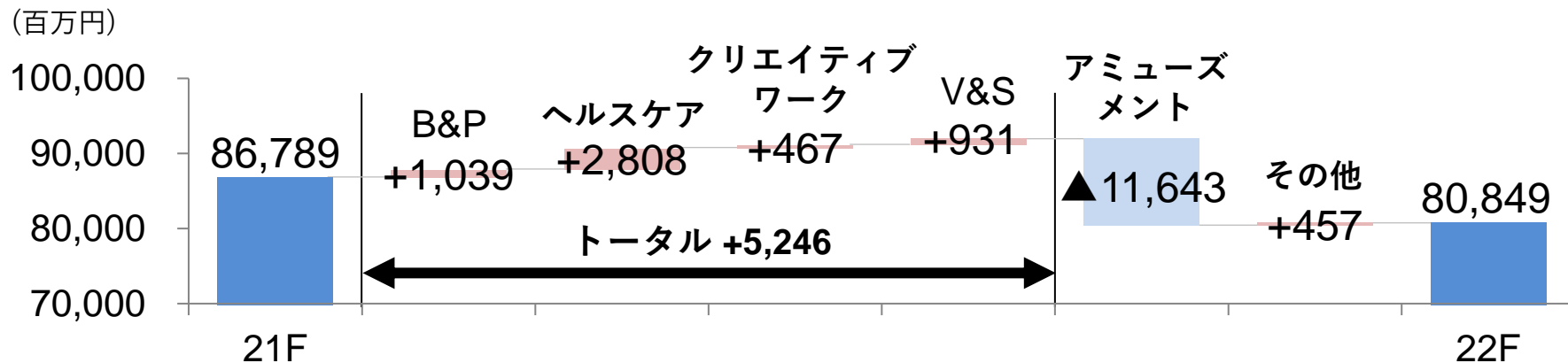
- 特別利益：投資有価証券売却益 19.4億円を計上

連結損益計算書

(百万円)

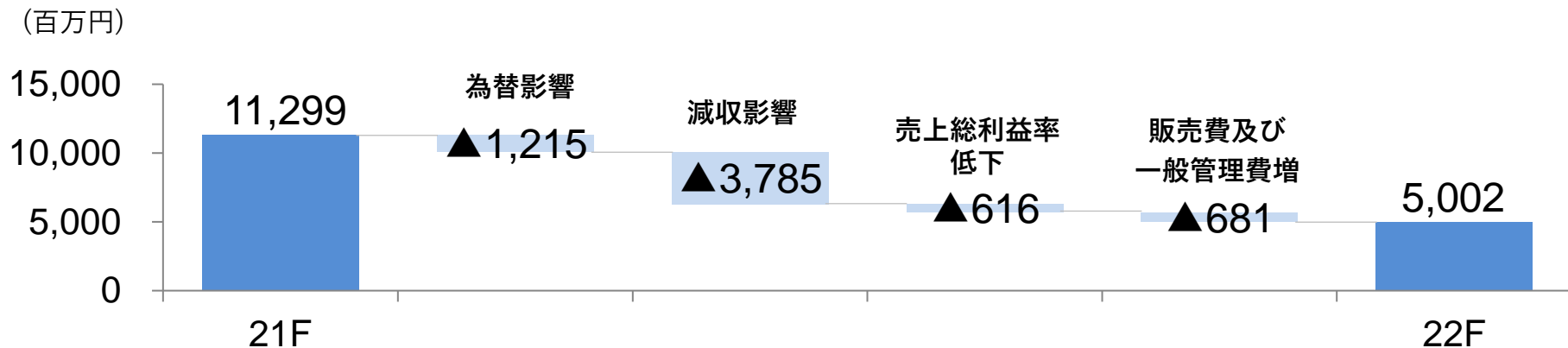
	21F	22F	前期比
売上高	86,789	80,849	93.2%
売上総利益	30,859	25,243	81.8%
売上総利益率	35.6%	31.2%	▲4.3pt
販売費及び一般管理費	19,560	20,241	103.5%
営業利益	11,299	5,002	44.3%
営業利益率	13.0%	6.2%	▲6.8pt
経常利益	12,110	6,126	50.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,794	5,862	75.2%
為替レート (年平均) :USD	112.39円	135.50円	+23.11円
為替レート (年平均) :EUR	130.55円	140.99円	+10.44円

売上高増減要因



- **B&P**： 欧州の一部地域でIT投資の先送りが見受けられたものの、堅調な販売を維持
- **ヘルスケア**： 欧州及び国内の堅調な販売に加え、北米でも需要の回復が見られ、販売増
- **クリエイティブワーク**： 新製品の販売が好調に推移したことに加え、北米での需要回復やインドでの販売も好調に推移
- **V&S**： 海外で監視用途向けの販売、国内で船舶用途向けの販売が増加
- **アミューズメント**： 新規則機への入替需要の反動減により大幅減収
- **その他**： アミューズメント用ソフトウェア受託開発等の売上高が増加

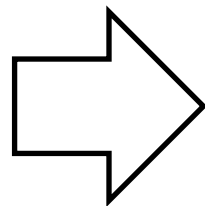
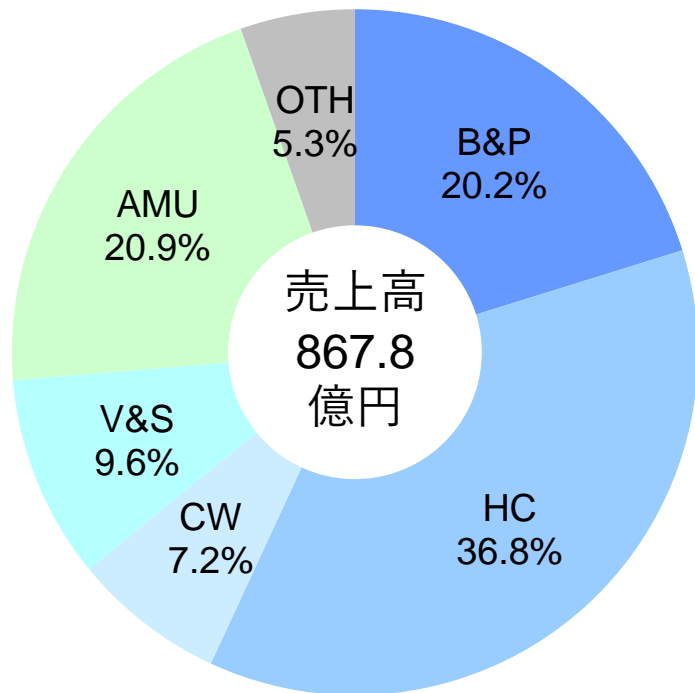
営業利益増減要因



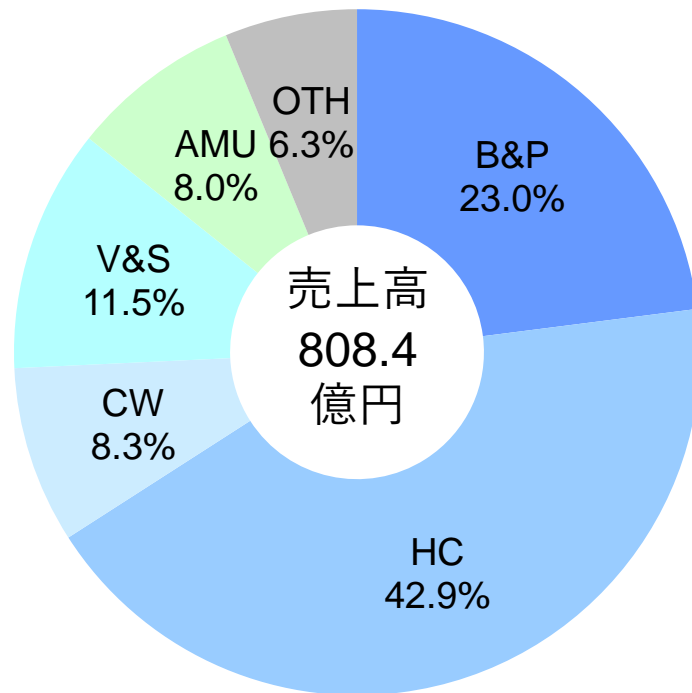
- **為替影響** 円安により増収効果をもたらした一方、ドル高によるコスト増が減益方向に作用
- **減収影響/売上総利益率の低下** アミューズメントの減収に加えて材料価格の上昇、ドル高及び物流コスト増の影響による
- **販売費及び一般管理費の増加** withコロナへの環境変化により広告宣伝活動が再開したこと等による

市場別売上高構成比

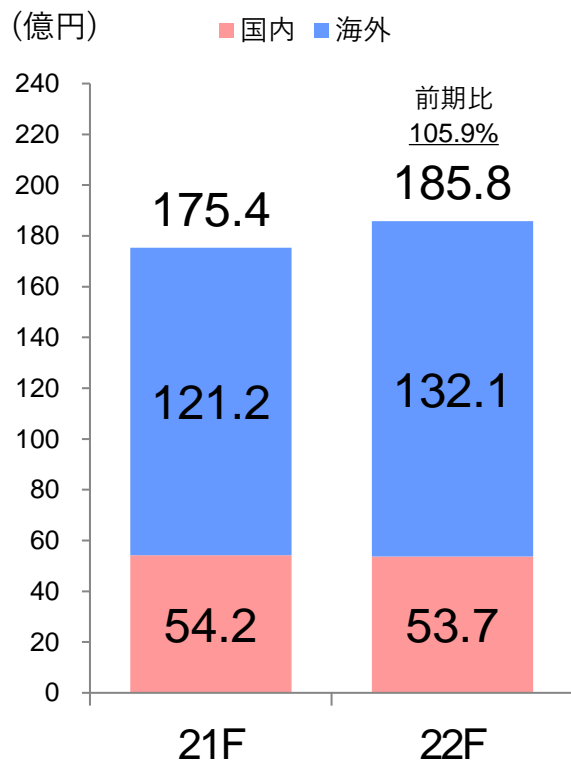
21F



22F



市場別売上高：B&P (Business & Plus)



海外

□ 欧州のうちドイツや一部地域ではIT市場における設備投資の先送りが見受けられたものの、堅調な販売を維持し、前期を上回る

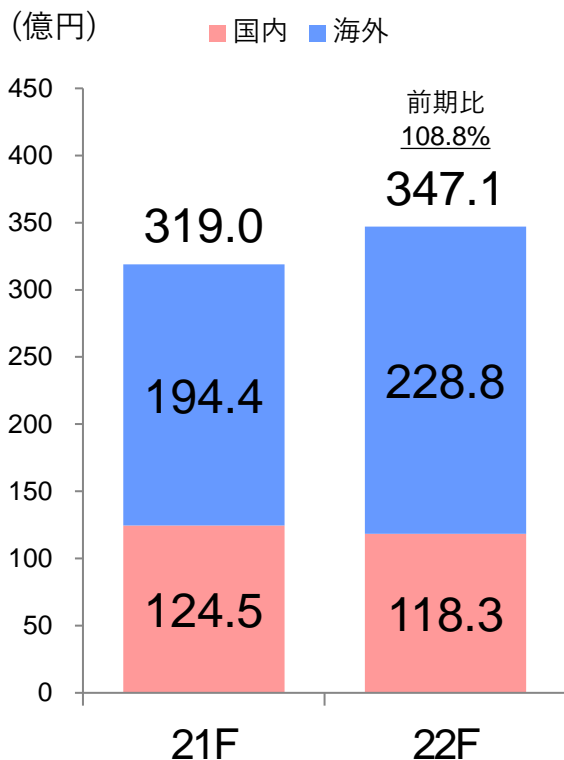
国内

- 流通段階において在庫を調整する動きが見られ、前期並みの販売
- 法人向け中心に高付加価値製品の販売が伸張



FlexScan EV3240X / EV2740X

市場別売上高：ヘルスケア



診断用途

- 海外では、欧州での堅調な販売継続に加え、北米での需要が回復
- 国内では、前期からの設備投資需要が継続

手術室用途

- 海外での販売が堅調

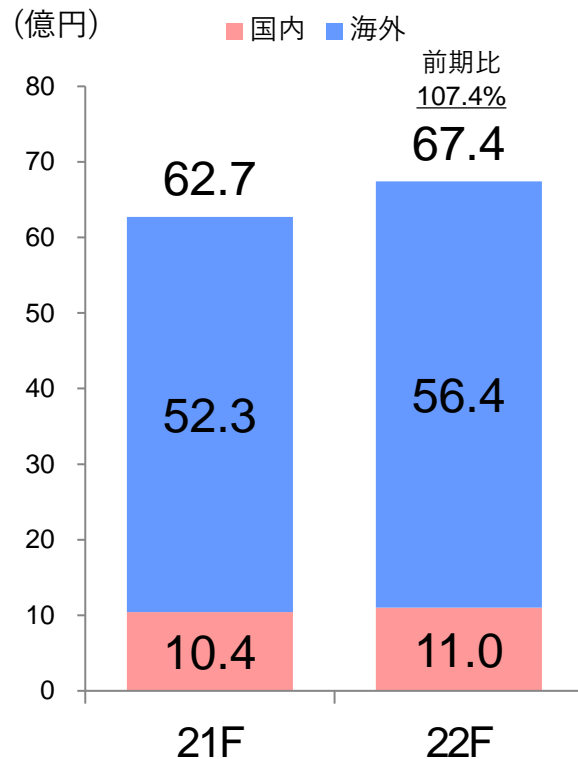
内視鏡用途

- 欧州、北米、中国を中心に海外向けの販売が伸張



RadiForce & RadiCS

市場別売上高：クリエイティブワーク



海外

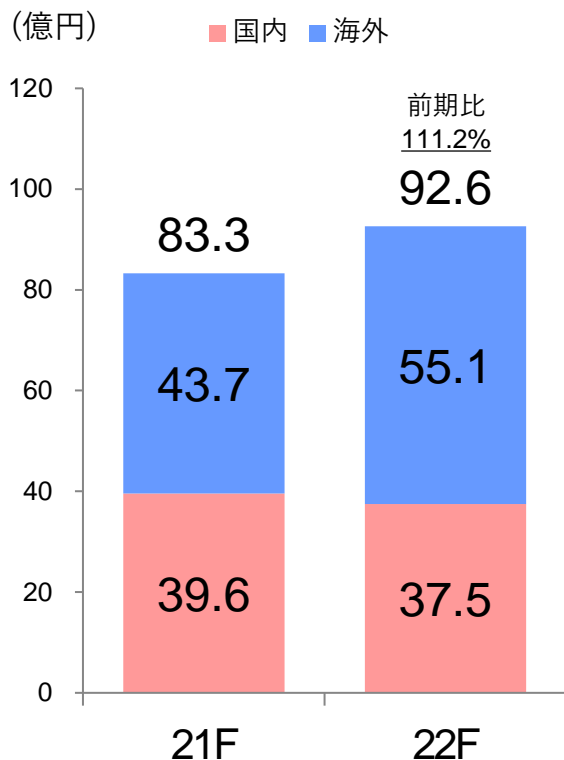
- 22Q2に本格的に開始した新製品の販売が好調に推移
22Q1で十分な供給ができなかった影響を挽回し、
前年同期を上回る販売
- 北米での需要が回復したほか、
インドでの販売が好調に推移

国内

- 新製品効果により
前期を上回る販売



市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)



航空管制用途

□ 当期は案件の端境期により、販売は前期を下回る

船舶用途

□ 新規造船需要もあり国内販売復調

セキュリティ・監視用途

□ EVS(EIZO Visual Systems)として展開する監視用途向け
IPソリューションの導入が進み、北米を中心に好調な販売

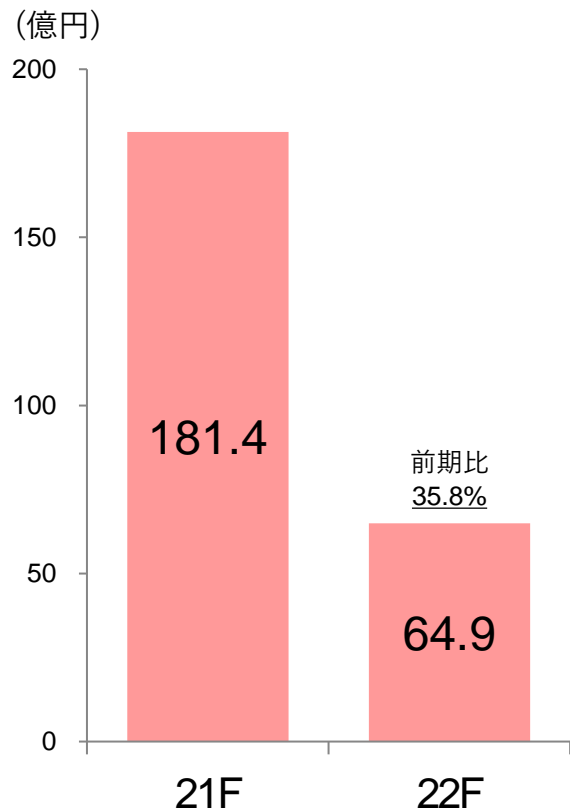
その他

- 国内では、顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売減
- 海外では、COVID-19による影響を受けていた自動車産業を始め各種産業向けの販売が回復



DuraVision DX0212-IP / FDF2712W-IP / FDF2312W-IP

市場別売上高：アミューズメント



- 前期に集中した新規則機への入替需要の反動減により前期を大きく下回る売上高
- 遊技人口の減少と店舗数の減少等による業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	22年3月末	23年3月末	増減
流動資産	80,510	79,904	▲606
現預金	13,887	9,557	▲4,330
売掛金等 ※	24,814	20,661	▲4,153
棚卸資産	31,749	48,020	+16,271
有形固定資産	20,173	21,988	+1,814
無形固定資産	841	748	▲93
投資その他の資産	53,933	53,294	▲638
資産合計	155,459	155,935	+476
流動負債	20,726	19,717	▲1,008
固定負債	16,150	15,638	▲512
純資産	118,582	120,580	+1,997
負債純資産合計	155,459	155,935	+476

棚卸資産

調達難に対応し、原材料在庫及び製品在庫を戦略的に積み増し

純資産

自己株式の取得 ▲2,821百万円

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	21F	22F	前期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	58.3	61.4	105.3%
売上高研究開発費率	6.7%	7.6%	+0.9pt.
	21F	22F	前期比
設備投資	30.3	31.6	104.3%
減価償却費	26.1	23.0	88.3%

研究開発費

- 新機種開発の増加や、システム事業展開に向けた製品強化への投資により増加

設備投資

事業成長に向けた投資を継続

- 本社物流棟建設(石川県白山市) 9.7億円
物流の合理化を実現し、さらなる安定供給体制の構築
- 国内子会社 EIZOエムエス(株) 生産自動化設備 1.7億円
生産能力増強・生産性向上に加え省人化を推進

1. 2023年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2024年3月期 業績の見通し

(百万円)

	22F	23F計画	前期比
売上高	80,849	89,000	110.1%
売上総利益	25,243	29,400	116.5%
売上総利益率	31.2%	33.0%	+1.8pt
販売費及び一般管理費	20,241	21,900	108.2%
営業利益	5,002	7,500	149.9%
営業利益率	6.2%	8.4%	+2.2pt
経常利益	6,126	8,600	140.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,862	6,000	102.4%
為替レート (年平均) :USD	135.50円	130.00円	▲5.50円
為替レート (年平均) :EUR	140.99円	140.00円	▲0.99円
ROA	3.9%	-	-
ROE	4.9%	-	-

2023年5月12日公表

- B&P/ヘルスケア/
クリエイティブワーク/V&Sの成長により、
増収を計画
- ドル高進行を含めた材料価格上昇等に対し、
販売価格への適切な反映を進めるとともに、
ヘルスケア及びV&S市場向けで高付加価値
製品の販売増加により収益性向上
- 事業成長のための研究開発、営業体制強化、
製造ラインにおける省力化投資
及び人材投資を拡大

連結営業利益への為替感応度(1円円安による 影響額)

- USD : ▲100百万円
- EUR : +180百万円



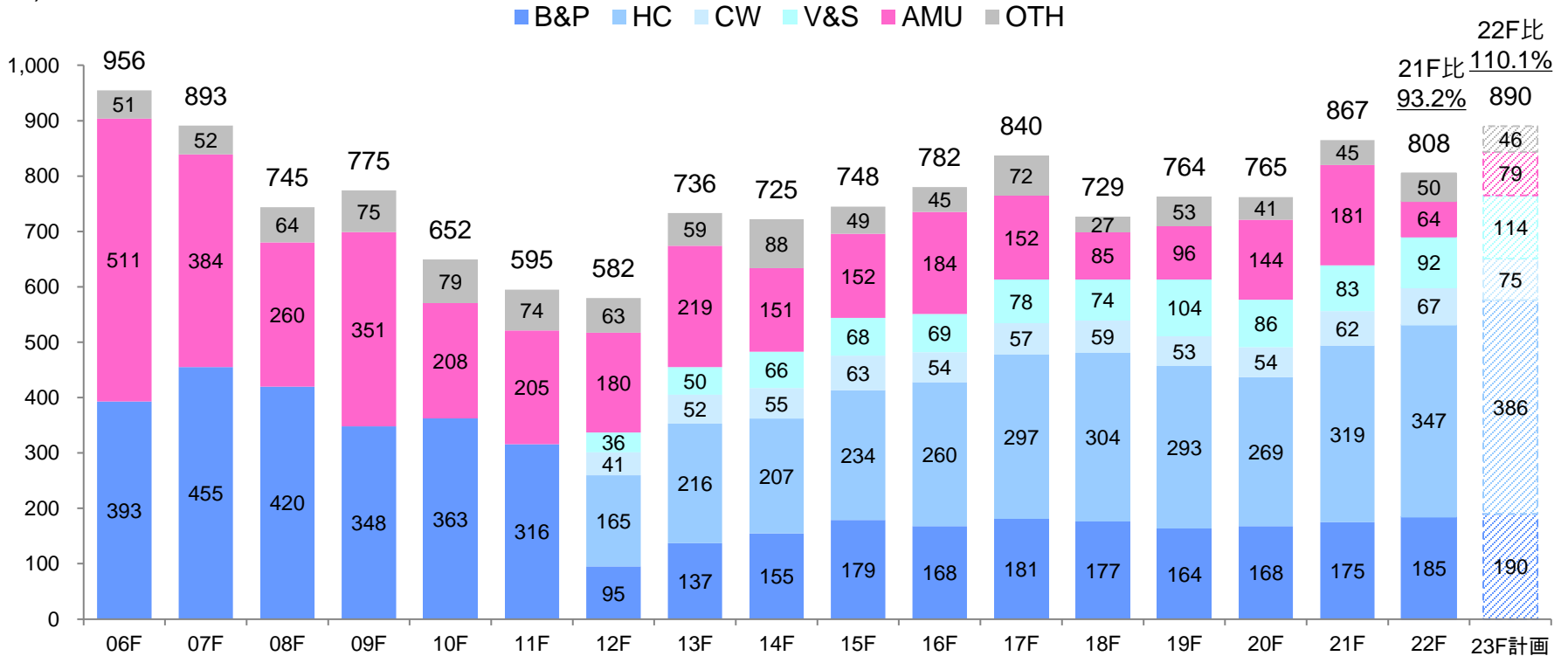
市場別売上高予想

(百万円)

	22F	構成比(%)	23F計画	構成比(%)	前期比(%)
B&P (Business & Plus)	18,583	23.0	19,000	21.3	102.2
ヘルスケア	34,713	42.9	38,600	43.4	111.2
クリエイティブワーク	6,746	8.3	7,500	8.4	111.2
V&S (Vertical & Specific)	9,269	11.5	11,400	12.8	123.0
アミューズメント	6,498	8.0	7,900	8.9	121.6
その他	5,039	6.3	4,600	5.2	91.3
合計	80,849	100.0	89,000	100.0	110.1

市場別売上高推移

(億円)



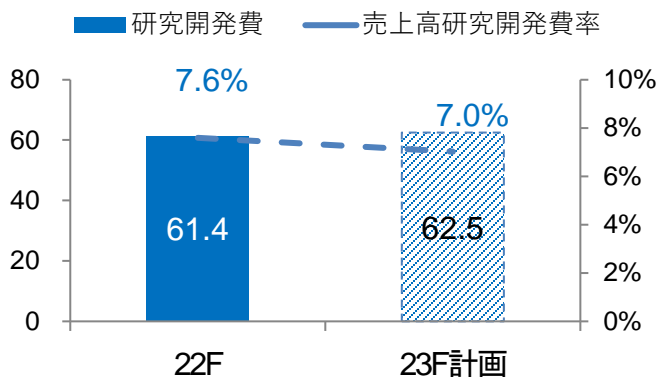
映像表示システム: B&P、HC、CW及びV&Sを総称して表示(06F-11F)



研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

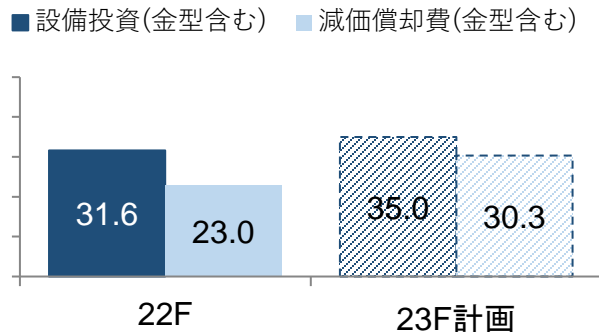
研究開発費 ※製造費用計上分を含む



□ 研究開発費は、システム事業推進に向けた製品を含め、ヘルスケア/V&Sを中心に成長分野への投資を強化

□ 設備投資は、事業成長のための投資を実行

設備投資 / 減価償却費



主な設備投資計画

- ・ 新生産設備 約4億円
新製品に対応の生産設備
- ・ DX投資 約4億円
MES(製造実行システム)を刷新
カスタマイズ対応を効率化し、顧客のニーズに対応

トピック①



SSZ-9700 / SSC-9700

導入事例

EIZOの超高感度カメラ導入で、
夜間でも鮮明な映像を用いた河川の流速・流量計測が可能に

- (株)ハイドロ総合技術研究所の河川流速・流量計測システムに夜間監視用として当社の超高感度カメラ「SSZ-9700」が導入

導入前の課題

- 台風などの洪水時に、夜間であっても現場で観測作業が必要で、安全面の問題あり
- 洪水のピークは夜間であることが多く、非常に暗いため、一般的なカメラでの計測は困難
- 遠赤外線カメラでは高価かつ解像度が不足



SSZ-9700導入後

- 夜間の暗い河川でも水面のわずかな動きをとらえることが可能
- 高解像度とズームレンズ内蔵により、遠く安全な位置からの計測に対応

⇒幅広い条件でシステムが利用可能



トピック②

CO₂排出量実質ゼロの新物流棟竣工

- 環境負荷低減設計をコンセプトとする
自社物流棟が本社敷地内に竣工(2023年2月)



物流合理化

- 外部倉庫に分散していた材料および製品を
自社内に集約し、物流の合理化実現と
ともにさらなる安定供給体制を構築

環境負荷低減 CO₂排出量実質ゼロを実現

- 屋上に太陽光発電設備を導入。火力発電
と比較し年間約163トンのCO₂削減
- 物流過程における温室効果ガス排出量も
年間約58トン削減

トピック③

サステナビリティへの取組み

- CDP (*)の「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、**最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定**

(*) 2000年に英国で発足。企業等の環境情報開示・評価システムを運営し、環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知されている



2022年度「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されたのは約8,000社の評価対象企業のうち上位8%にあたる653社(うち日本企業は131社)

環境に調和した企業活動やサプライチェーンを通じたサステナビリティの推進への取組みが評価

- FlexScanの6製品がEPEAT (*)の**最高位Goldランクに認定**

(*) 米国に環境基準。電子製品が環境に与える影響を評価する基準

製品環境配慮設計に加え、サプライチェーン全体での環境配慮、人権の尊重など持続可能な社会を考慮した事業活動の実践が評価



株主還元方針の変更

<新しい株主還元方針>

当社は事業拡大と業績向上を通じて持続的成長を図るとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元を行うことを経営の重要課題と位置付け。

資本収益性はROE8%以上を目標として高めていく。

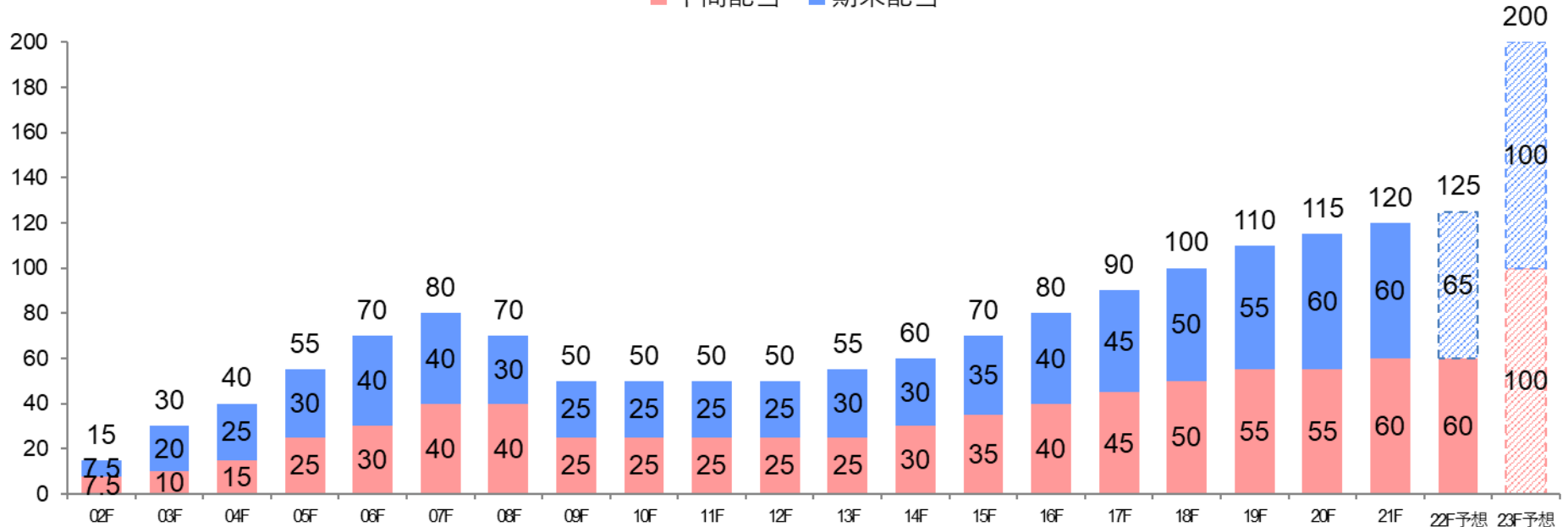
事業拡大に必要な資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案し、株主への**還元率(総還元性向)の目標水準を連結当期純利益の70%**に設定。

業績、事業環境及び当面の資金需要等に応じて、事業年度毎に柔軟に還元率を決定し、**23Fは11期連続の増配を予定**。

株主還元

(円 / 株)

■ 中間配当 ■ 期末配当



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	44.5%	68.6%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	92.2%	68.6%

※22F予想の還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 28億円を含みます



1. 2023年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

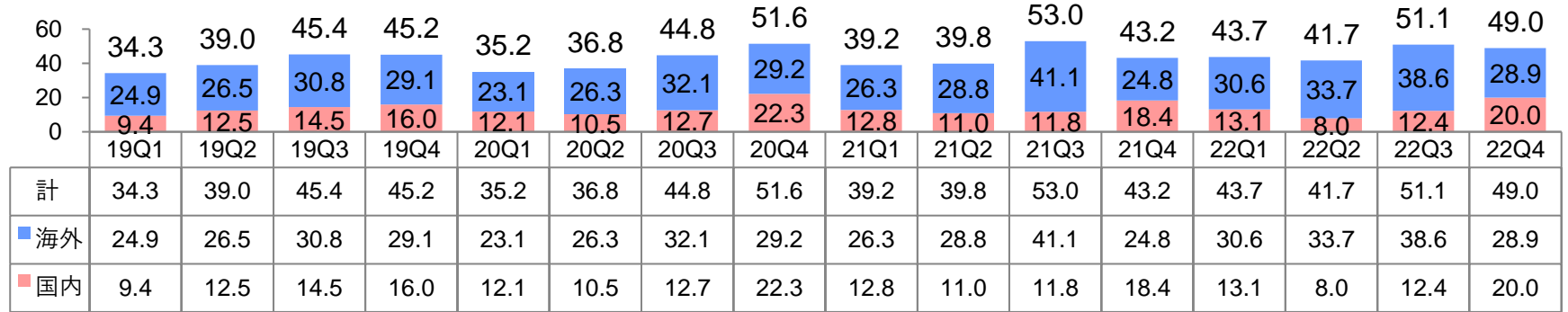
3. 参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

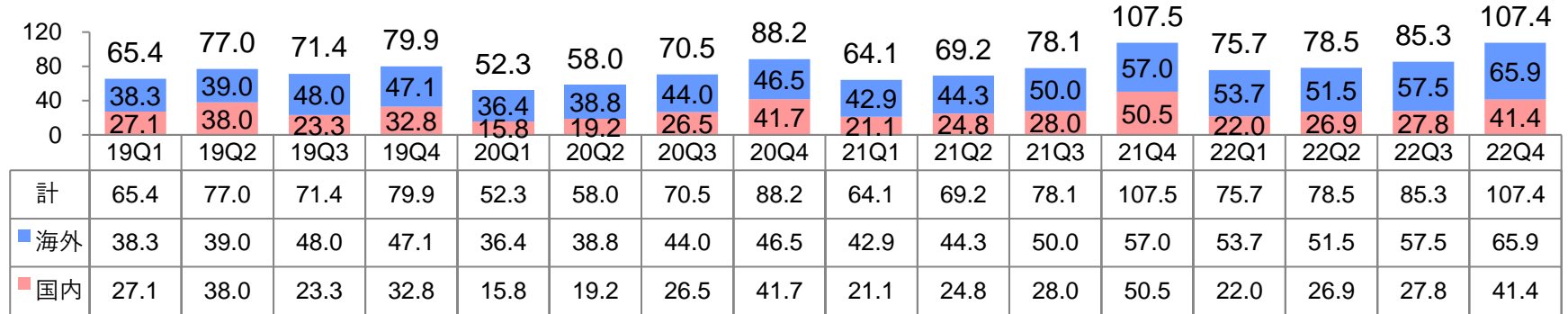
B&P

■ 国内 ■ 海外



ヘルスケア

■ 国内 ■ 海外

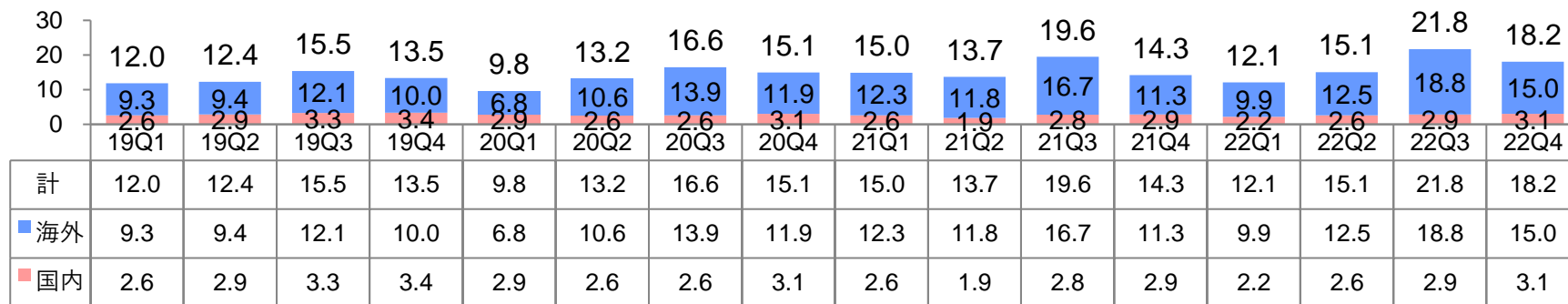


市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

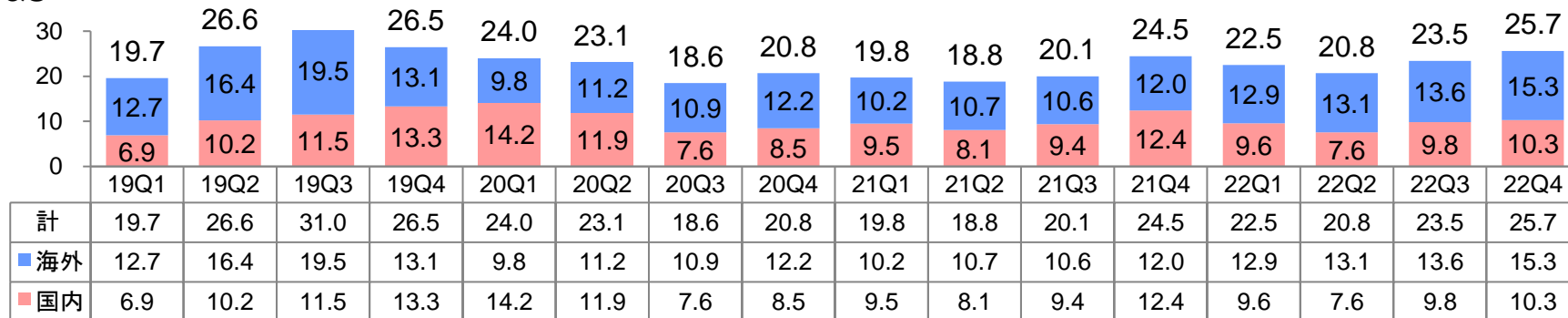
クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



V&S

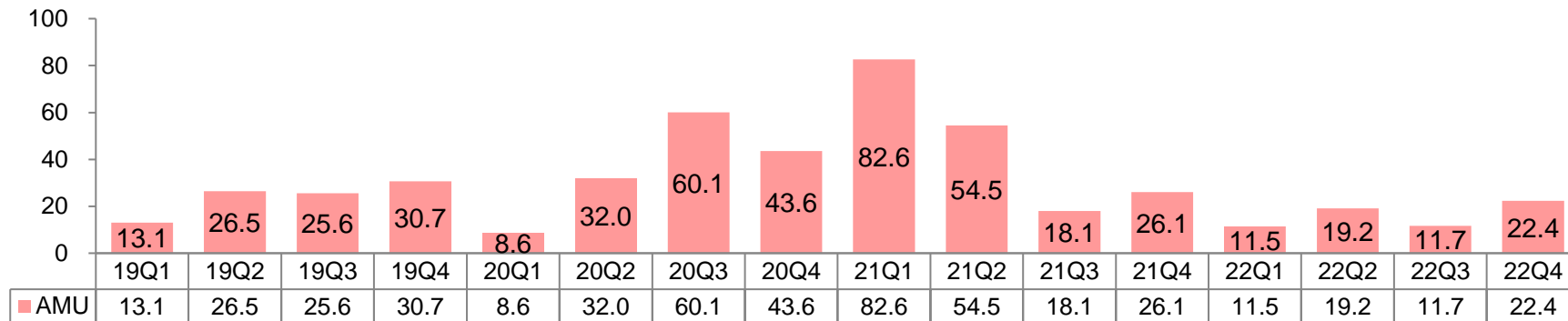
■ 国内 ■ 海外



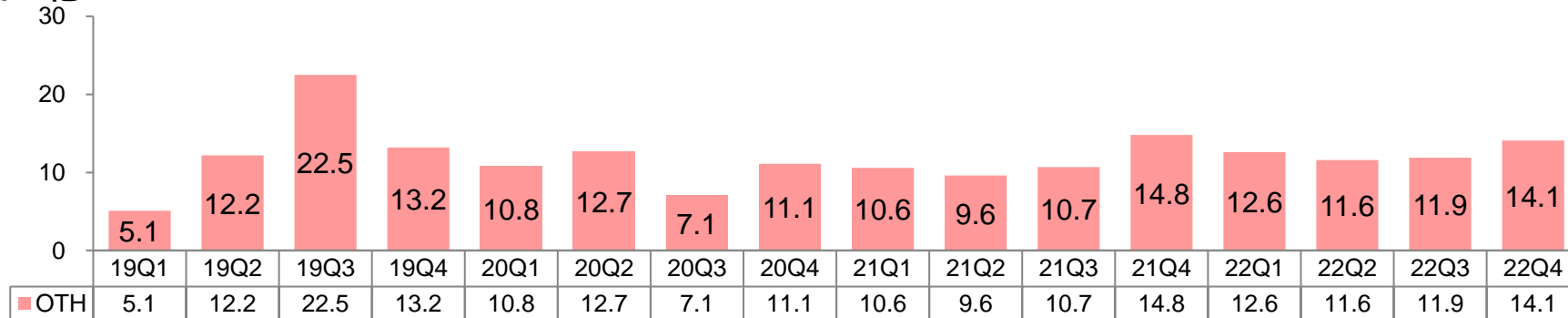
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

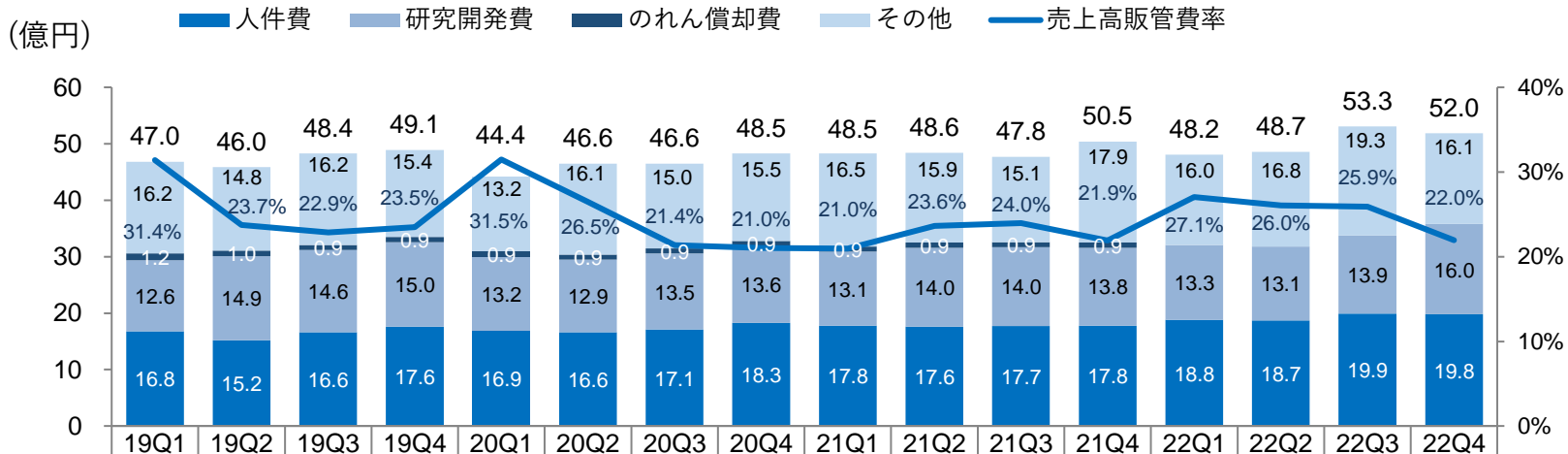
アミューズメント



その他



販売費及び一般管理費推移



計	47.0	46.0	48.4	49.1	44.4	46.6	46.6	48.5	48.5	48.6	47.8	50.5	48.2	48.7	53.3	52.0
その他	16.2	14.8	16.2	15.4	13.2	16.1	15.0	15.5	16.5	15.9	15.1	17.9	16.0	16.8	19.3	16.1
のれん償却費	1.2	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	-	-
研究開発費	12.6	14.9	14.6	15.0	13.2	12.9	13.5	13.6	13.1	14.0	14.0	13.8	13.3	13.1	13.9	16.0
人件費	16.8	15.2	16.6	17.6	16.9	16.6	17.1	18.3	17.8	17.6	17.7	17.8	18.8	18.7	19.9	19.8
売上高販管費率	31.4%	23.7%	22.9%	23.5%	31.5%	26.5%	21.4%	21.0%	21.0%	23.6%	24.0%	21.9%	27.1%	26.0%	25.9%	22.0%



Visit us online
www.eizo.co.jp